上意東研修センターだより
令和三年七月一日
174号
発行責任者
上意東地域づくり協議会会長
森廣光彦

揖屋小の皆さん　水車お披露目に参加
その後田植え体験に挑戦

手作業によるコメ作りと水車
それぞれの歴史を学ぶことは貴重な体験

小学生の代表がひも引きを除幕

みんなで田植えに挑戦

水車制作関係者の皆様

大工棟梁の星野さんにお話を聞きました。

「貴重な体験をさせていただき、曲線部分はかなりの手間がかかりましたが、困難を乗り越え無事に完成することができ、感激もひとしおです。竣工お披露目や祈願祭を盛大にしていただきひたすら感謝です。」

玉ぐし拝礼

右側が大工棟梁　星野武敏さん

復活した水車のお披露目式が、揖屋小学校5年生の児童に見守っていただきながら、にぎやかに執り行うことができました。その後児童は、水田で田植えの体験をしました。地元の皆さんのお話を聞き、早速田植えに挑戦。土の感触に戸惑う児童も見受けられました。苗を投げて渡すと、賑やかな声があがっていました。手植えのためのババ引きの説明には不思議そうな表情でした。泥んこになる児童もおり、終始楽しそうな田植えとなりました。

１０年後も…
人に優しく「心地いい地域」を目指し、
あわせて賑わいづくりのある
地域づくりに取り組みます。

NPO法人かみいとう通常総会が行われました

5月23日（日）に開催された第10回通常総会は、文章による決議で議案がすべて可決されました。新しい事業として、「上意東地域安心見守りネットワーク」が新しくできます。水車も無事完成し、お披露目式も盛大に行われました。NPO法人かみいとうは、地域の皆様のご支援をいただき、「賑わいのある地域づくり」のために努力することが表明されました。

新役員体制は以下の通りです。

理事長　冨士本数彦
副理事長　藤本久江　山本大雄
監事　森廣紀元　太田好洋
東出雲おちらと村村長　矢野正紀
各担当部　※◎は部長
保健福祉部　◎廣江真紀子　石田八恵子　廣江容子
地域づくり部　◎川上弘幸　石橋哲造　福島忠男　上山根裕光　濱田幸介
地域安全部　◎太田重美　三島浩治　森口重人
おちらと村管理部　◎森山信雄　藤本久江　山本大雄

感染症に留意した総会

上意東地区クリーン作戦で地区の美観の確保

5月31日、恒例のクリーン作戦が実施されました。高庭地区では各戸総出で、集荷所前に集合し、地区内の拾い集め、ごみ付近の花植えが特にお多い。ポイ捨てが目立つ。道路周辺の草刈りや、ゴミ周辺の清掃や、農作業にともなう留意ナどの地区内のスイ感染症にはイルなどが気になります。県道側道（歩道）の清掃や、地区内の草刈りや

上意東の特産品
西条柿の花が満開です

上意東にはおよそ４５０本ほど西条柿の木があります。樹齢がわからない古木から近年柿園として植栽された柿もあるところです。この柿に清楚な白い花が咲きました。今年は気象の関係などから、例年に比べて１０日ほど早い開花となっています。また、花の数も多くありますので、秋には豊作になると思います。

多くのお客様に伝統の畑干し柿をご賞味いただくために、農家は品質管理に多くの時間を割いて市場等へ出荷しています。

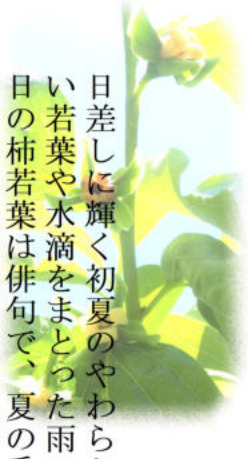
近年、ほし柿のヘタ部分にクモの巣状の糸を張る虫がいることから、全組合員が一個ずつチェックするなど神経を集中して検査しています。

この対策として、今年の１月に畑ほし柿生産組合は、島根大学と共同研究契約を締結しまして、ほし柿に寄生する害虫の特定と防除方法を調査・研究しています。具体的には畑地区内の４箇所に虫のトラップを設けて調査しています。担当頂いている大学の環境共生科学科の先生や学生さんには、定期的に地区内を調査していただいています。

清楚な柿の花

今夏には中間報告を組合員が聞き、防除方法を速やかに実施しまして、お客様に美味しい畑ほし柿を提供できるよう努力する考えです。（畑ほし柿生産組合より投稿いただきました。）

学生さんによる害虫捜査


日差しに輝く初夏のやわらかい若葉や水滴をまとった雨の日の柿若葉は俳句で、夏の季語として使われています。

第41回
上意東に生きる生き物たちも私たちの仲間だ
ウグイスと同じくらいの大きさの声で美しいさえずり　クロツグミ

全長２１・５㎝。体は黒、くちばしは黄色、胸は白に黒の斑点。ツグミやヒヨドリよりやや小さいです。渡り鳥で、日本では夏鳥。北から渡ってきて日本で繁殖します。「キャア　キャア　キョコ　キョコ　キーキ　キーコ　キーコ」などと大きな明るい声で鳴き、これを何度も繰り返してさえずります。一定の同じさえずりではなくたまにやや違うメロディーを奏でるので、違う鳥かと思うくらいです。ウグイスと同じく美しい声を持った、日本の代表的な歌鳥といってもよいと思います。

この時期早朝、まだ夜が明けきらない時から盛んに鳴きます。声量も大きく、きれいな鳴き声でこの時期毎年待ち遠しい鳥です。とにかく早朝鳴きます。一度覚えると特徴的な鳴き声ですが、姿がなかなか見えないので、先日スマートフォンに録音し、川越戀（れん）さんに確認していただきましたが、クロツグミに間違えないようです。ユーチューブで聞いてください。

クロツグミ

キャンプ場としての価値を再認識
冨士ヶ瀬公園整備事業を企画　説明会を開催

先日、松江市の地域おこし協力隊の冨士ヶ瀬利力さんが、公園の清掃活動を利用して、木を切り株を抜く作業を行ったとのことです。清掃活動に参加した中人さんは、「冨士ヶ瀬公園は、ポテンシャルの高い場所です。有効活用を提案したいと思います。」と、意欲を示されました。

あくまで任意の参加で、できることからというスタンスで取り組みますので短時間の協力でも結構です。宜しくお願いします。

岸さんのスライドを使った説明会

京羅木山、星上山ハイキングコースの整備に汗を流す

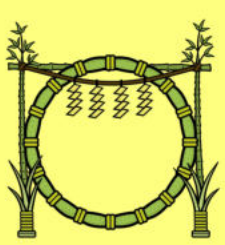
恒例の登山道整備に地域自治会、いしずえの会、ＮＰＯ法人かみいとう、みどり会など13名の方の協力をいただき、京羅木山山頂をはじめ各コースの点検整備を行いました。草刈りや倒木の撤去など、ハイカー、利用者の皆様に快適な環境で歩いていただけるよう努力していますが、地区外からの協力も今後考えなければ維持が困難と思われます。身近で安全、かつ気軽に散策ができる登山道として年々利用者が増えています。案内のピンクテープや、オレンジの道標は、分かりやすいと大変好評です。ボランティアの皆様ありがとうございました。

整備の様子

上意東の行事予定

7月
- 4日(日)　午前8時半　金刀比羅宮清掃奉仕
- 10日(土)　午前10時　金刀比羅宮夏祭り
- 11日(日)　午前9時半　谷口不動尊周辺の伐採
- 14日(水)　10時半　おちらとサロン会
- 15日(木)　11時　岩崎神社夏祭り
- 17日(土)　午前8時　冨士ヶ瀬公園整備
- 25日(日)　バケツ水族館

金刀比羅宮よりお知らせ
茅の輪（ちのわ）くぐり　オリジナルの飾りでやります

7月10日は、金刀比羅宮の夏祭りです。古来日本では、夏を迎えるこの時期、疫病が流行ることが多かったため、厄払いと無病息災のため、茅の輪くぐりが執り行われるようになったと考えられています。茅の輪くぐりは、多くの神社で、夏越の祓で執り行われています。

金刀比羅宮では、近年この茅の輪くぐりが行われておらず、今年は感染症の鎮静を願う意味でも、総代を中心に制作することとしました。祭りの前日、9日午後1時より、製作しますのでご協力していただけるお方がございましたら、宮の方にお越しいただけると喜びます。また当日はぜひ祭りに参拝いただきますようよろしくお願いします。